

# 日本医史学雑誌 第四十六卷 第一号 目次

原著

医学館の学問形成(三) 幕末考証学の位相……………町 泉寿郎……………三

近代日本の対中医療・文化活動——同仁会研究(二)……………丁 蕃……………三

華岡青洲の系譜的研究——和歌山県海南市の川端家、柳川家の調査から……………松木 明知……………三

広場 暉峻義等と医学史研究——奨進医会および日本医史学会とのかかわりを中軸に……………岡田 靖雄……………三

資料 池田文書の研究(二十一)……………池田文書研究会……………三

江戸幕府の医療制度に関する史料(九)——坂四家の『官医家譜』など(二)……………香取 俊光……………三

追悼 名誉会員田中助一先生を悼む……………杉立 義一……………三

記事 例会抄録……………望月 洋子……………三

紹介 黒船来航と蘭医たち……………望月 洋子……………三

大塚恭男著『東洋医学の世界』……………多留 淳文……………三

川村純一著『病いの克服——日本痘瘡史』……………蔵方 宏昌……………三

磯貝 元著『明治の避病院——駒込病院医局日誌抄』……………新村 拓……………三

小曾戸洋著『漢方の歴史——中国・日本の伝統医学』……………真柳 誠……………三

小曽戸洋著『日本漢方典籍辞典』	.....	安井	廣迪	.....	二〇
酒井シヅ編『疾病の時代』	.....	杉立	義一	.....	一一
文庫めぐり					
宮内庁書陵部	.....	小曽戸	洋	.....	一〇
無窮会神習文庫	.....	町	泉寿郎	.....	九
金沢大学医学図書館	.....	寺畑	喜朝	.....	七

《本号の表紙絵》

マルタ救護騎士団の十字章

1099年、ヨーロッパ諸国では聖地エルサレム奪回とキリスト教布教のため、十字軍が組織されその中核を騎士の修道会が担った。

最初に聖ヨハネ騎士団がつくられ、エルサレムに常駐し巡礼の救護・医療の活動をした。

他の戦闘集団はイスラム側に苦戦するうちに消滅したが、聖ヨハネ騎士団は地中海へ後退しながらも永く活動した。1530年に神聖ローマ帝国兼スペイン国王カルロス1世から、シシリア島の南のマルタ島を与えられ、そこに本部をおき「マルタ救護騎士団」と改称した。この歴史ある集団は図の如き8枚の矢羽根の紋章をもちNGOとして救らい事業等を今も行っており、ローマ郊外の旧マリアナ城を改築して血管性神経障害患者のリハビリ施設 (Riabilitazione Neuzomatonìa) として運営している。

図は Emilio Venditti 著 ; Il castello della Magliana (Roma, maggio 1988) より借用した。  
(中西 淳朗)